

線形代数学第2 - 期末試験問題 -

電子情報学類1年生(1組)

平成20年度後期 - 2009.2.4 -

1. A を 2×2 の実対称行列とする. ベクトル $x = [1, 1]^T$ に A をかけると $[3, 3]^T$ になった. また, A の行列式は 3 である. A を求めよ (ヒント: 実対称行列において, 異なる固有値に対する固有ベクトルは直交する. $A = SAS^{-1}$)

2. 2次元ベクトル $x(n) = [x_1(n), x_2(n)]^T$ が次式により更新される.

$$x(n+1) = Ax(n), \quad A = \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{bmatrix} \quad x(0) = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$$

- (a) A の固有値, 固有ベクトルを求めよ.
(b) $x(n)$ を求めよ.
(c) $n \rightarrow \infty$ としたとき, $x(n)$ はどうなるか.
3. 次の微分方程式を解け. また, この微分方程式の解は安定であるか, 不安定であるか示せ.

$$\frac{du(t)}{dt} = \begin{bmatrix} -2 & 1 \\ 1 & -2 \end{bmatrix} u(t), \quad u(0) = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$$

4. 次の行列に関して, 以下の問に答えよ.

$$A = \begin{bmatrix} 3 & 2 \\ 2 & 3 \end{bmatrix}$$

- (a) A をスペクトル定理で分解せよ.
(b) A を固有値の大きい成分のみを用いて表せ.
5. 複素ベクトル $x = [1 + i, i]^T$ と $y = [1 - i, -i]^T$ について
- (a) 各々の長さ (ノルム) を求めよ ($\sqrt{\text{数値}}$ の形でよい).
(b) x と y の内積を求めよ.

6. 実対称行列 A が正定値であるための必要十分条件は次のように表される.

- (1) 0 でない全てのベクトル x に対して $x^T Ax > 0$ である.
(2) A の全ての固有値が正である: $\lambda_i > 0$.
(3) 部分行列 A_k の行列式が全て正である: $\det A_k > 0$.
(4) A の全てのピボットが正である: $d_k > 0$. 但し, 行の交換はないものとする.
(5) $A = W^T W$ となる正則行列 W が存在する.

以下の問に答えよ.

- (a) (1) から (2) を証明せよ.
(b) (1) (2) から (3) を証明せよ.
(c) (3) から (4) を証明せよ.
(d) (2) と $A = SAS^{-1}$ から (5) を証明せよ (ヒント: A が実対称行列であり, 固有ベクトルは正規直交系をなすため $S^{-1} = S^T$ が成り立つ)